



天然温泉 蓮花の湯 御宿 野乃京都七条

株式会社 共立メンテナンス 2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

2021年2月
東証第一部(9616)

目次

01 決算ハイライト P. 2

02 事業セグメント別業績 P. 5

03 参考資料 P.15

よい朝のために。

決算ハイライト

- 3 Qは2 Qからの回復基調を継続し、2 Q比で更に増益
- ホテル事業は『GO TO トラベルキャンペーン』も追い風に RevPARが2 Qから更に上昇
- 通期予想は3 Qまで業績回復傾向にあるものの、4 Qについては『GO TO トラベルキャンペーン』の一時停止と緊急事態宣言の長期化で先行き不透明感があるため、変更せず

よい朝のために。

連結業績と主要経営指標

(億円)

	FY 3/21						FY 3/20	FY 3/21
	3Q 累計実績 (2020/4-12)	対前年同期		1Q 実績 (2020/4-6)	2Q実績 (2020/7-9)	3Q 実績 (2020/10-12)	3Q 累計実績 (2019/4-12)	通期予想
売上高	913.4	-417.5	-31.4%	236.0	326.4	350.9	1,330.9	1,320.0
営業利益	-37.4	-159.6	-	-45.2	0.3	7.4	122.2	-30.0
経常利益	-37.5	-159.0	-	-48.0	3.1	7.3	121.4	-30.0
当期純利益 (注)	-76.5	-158.3	-	-64.2	-14.3	2.0	81.8	-68.0
E P S (円)	-196.2	-406.1	-	-164.7	-36.7	5.2	209.9	-174.4
設備投資額	69.6	-93.9	-57.4%	26.0	20.7	22.7	163.6	未定
減価償却費	38.9	+0.9	+2.5%	12.7	13.0	13.1	38.0	53.5
キャッシュ・フロー ※	-37.5	-157.4	-	-51.5	-1.2	15.2	119.8	-14.4

※キャッシュ・フロー：当期純利益＋減価償却費

(注)今後の成長を展望し、一層の体質強化を図るべく事業の見直しを進め、韓国の1事業所並びにグローバルキャビン等を閉鎖、それに伴う特別損失21億円、及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業による損失等を合計し50億円計上。

よい朝のために。

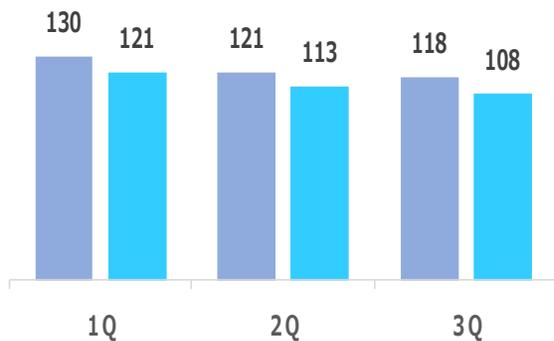
主要事業セグメント別 売上高・営業利益

■ FY 3/20 ■ FY 3/21

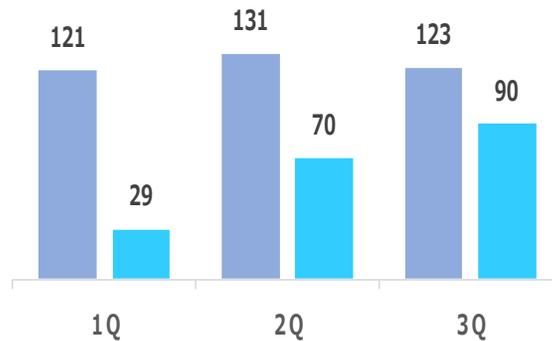
(億円)

売上高

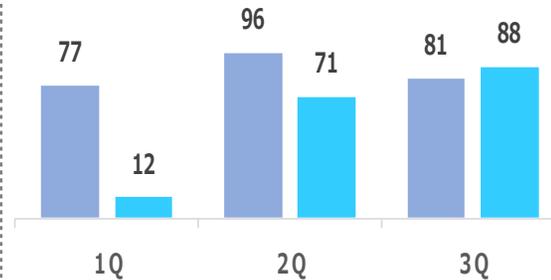
寮事業



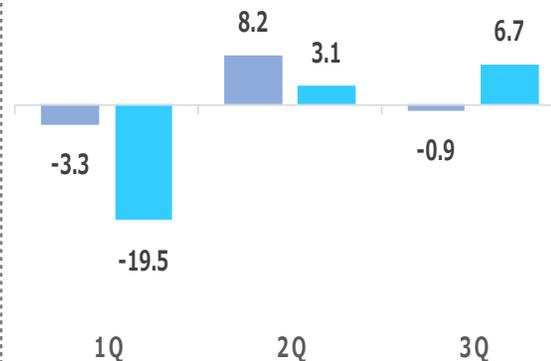
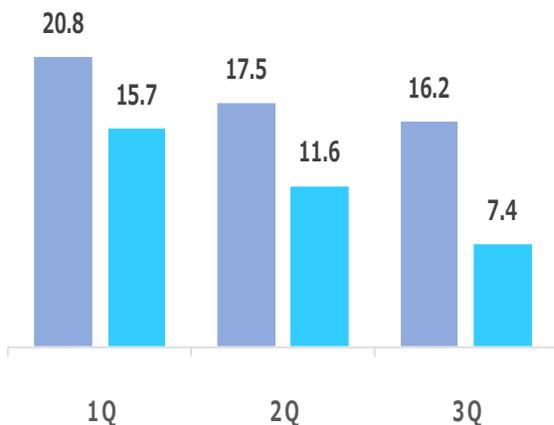
ドリーミン



リゾート



営業利益



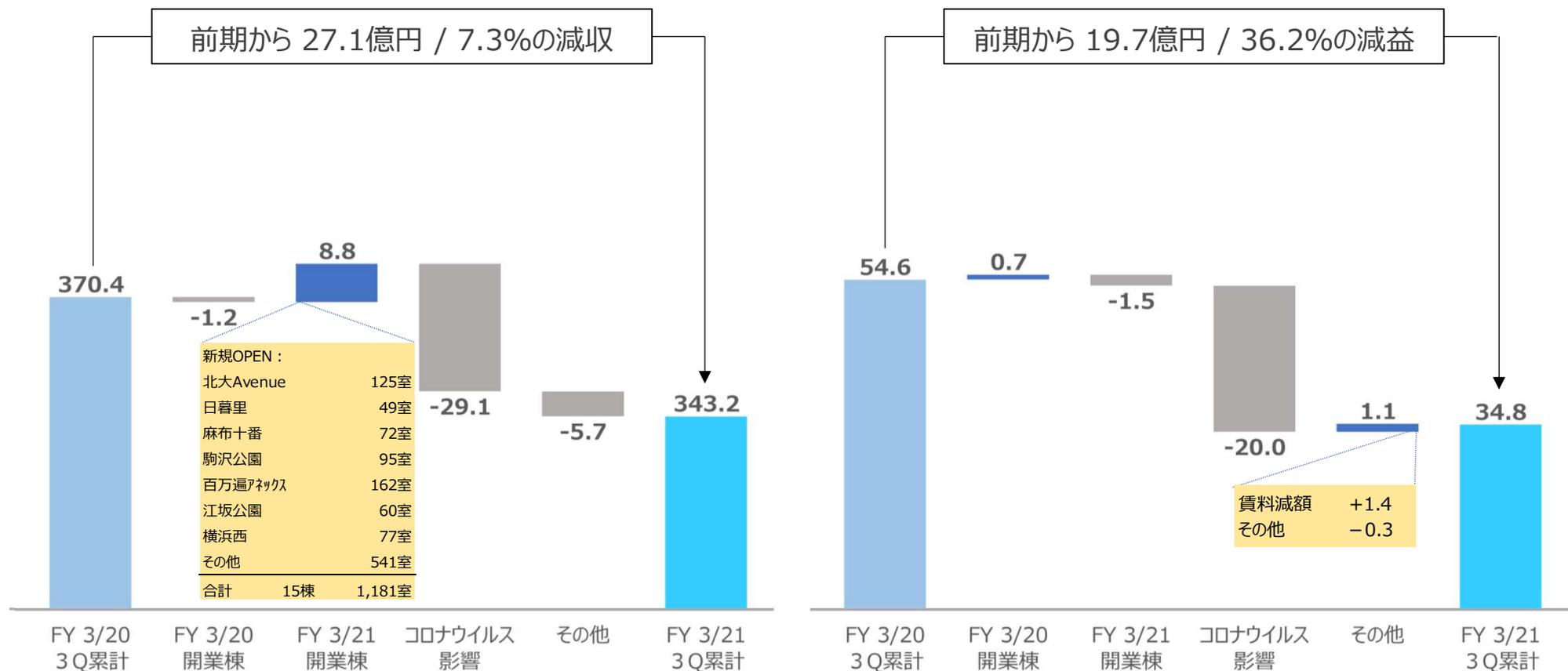
よい朝のために。

寮事業：売上高・営業利益

売上高

営業利益

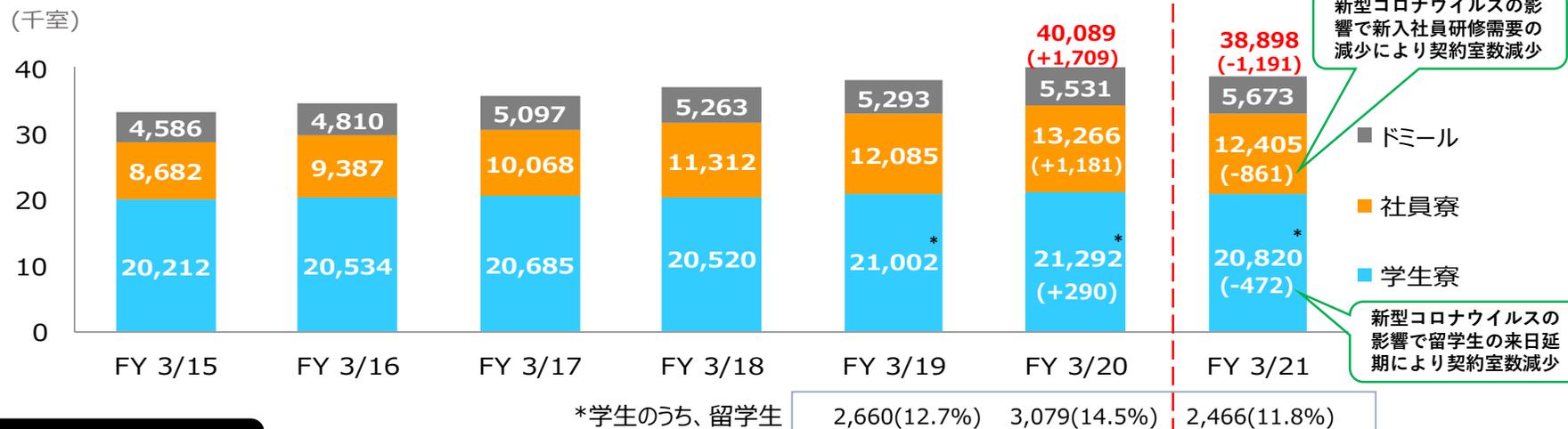
(億円)



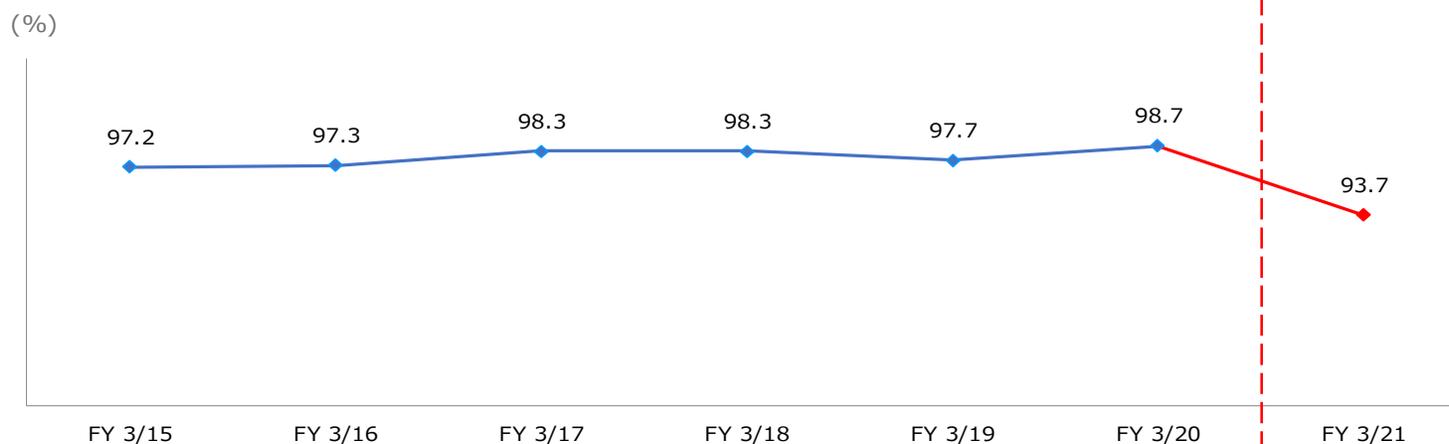
よい朝のために。

寮事業：期初契約室数・稼働率推移

期初契約室数推移（カテゴリー別）



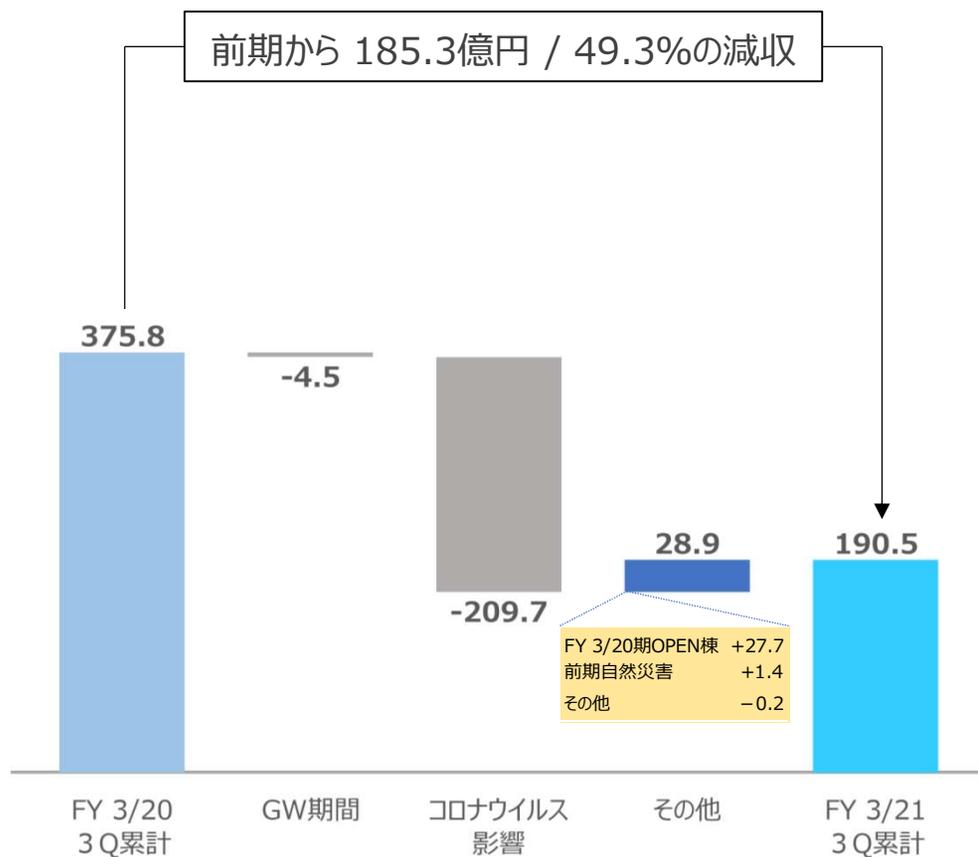
期初稼働率推移



よい朝のために。

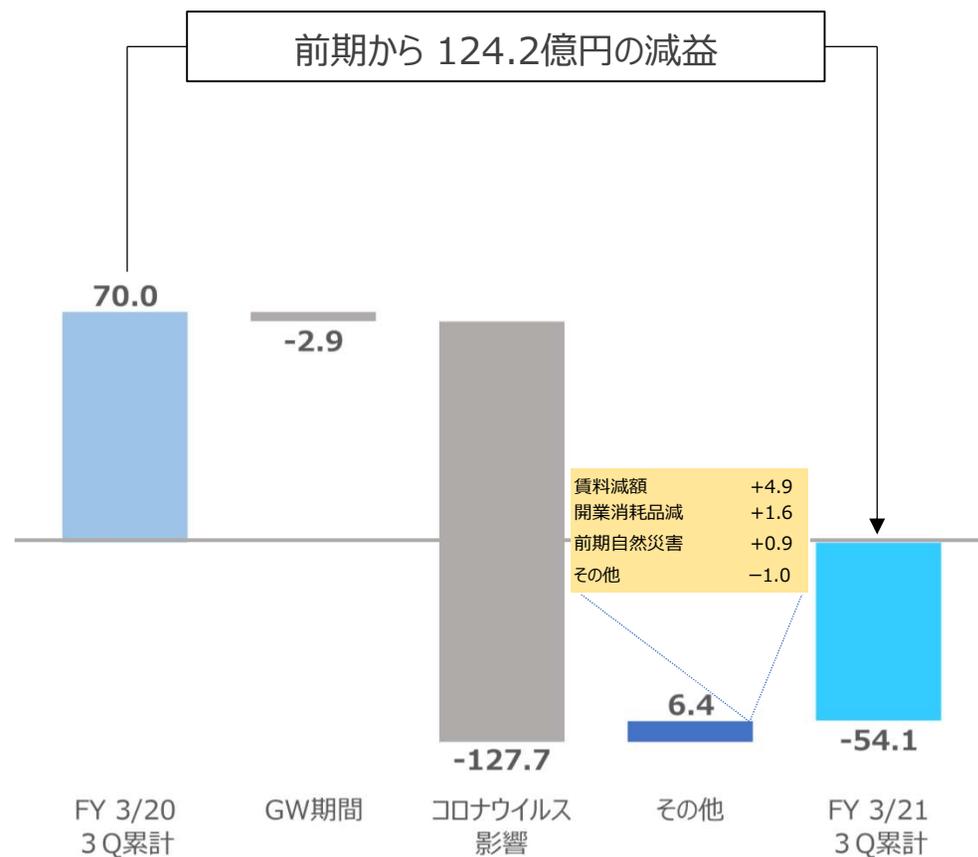
ドーミーイン事業：売上高・営業利益

売上高



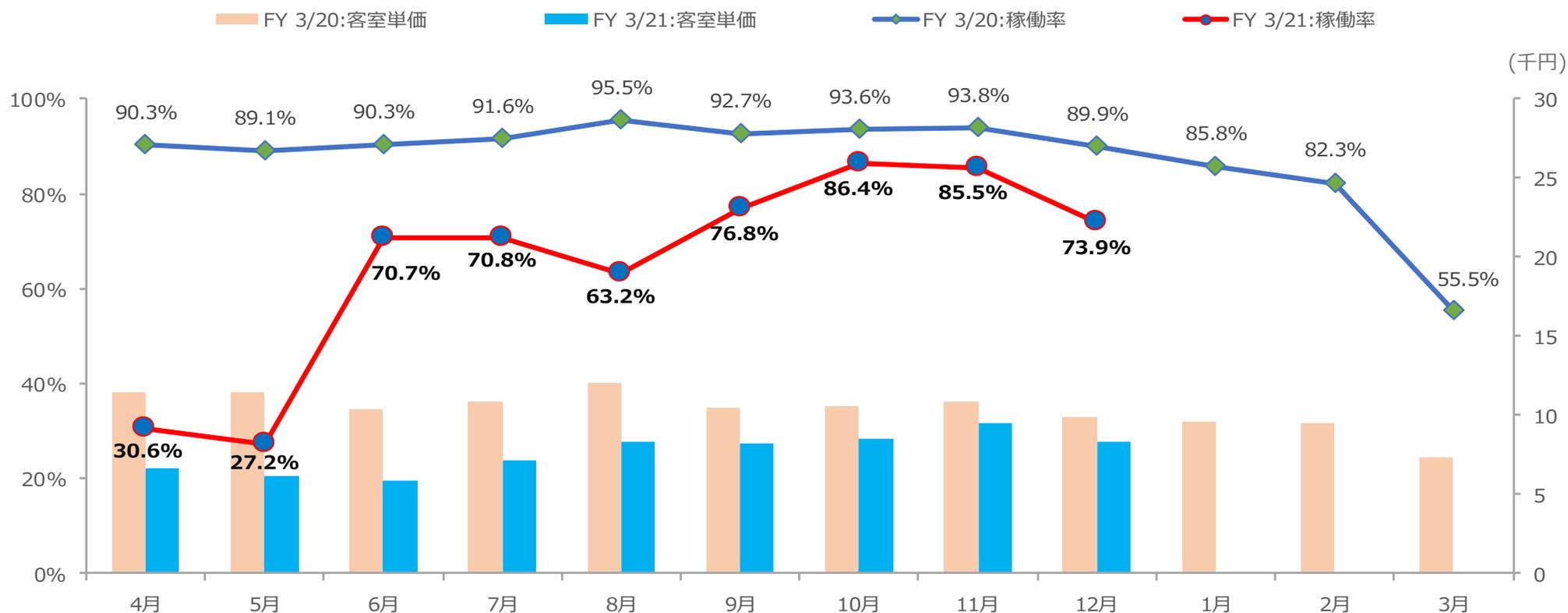
営業利益

(億円)



よい朝のために。

ドーミーイン事業：稼働率及び客室単価の月別推移



稼働率

	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	89.9%	93.3%	92.4%	91.9%	74.3%	87.5%
FY3/21 実績	42.7%	70.2%	81.9%	65.7%		
対前年同期	-47.2pp	-23.1pp	-10.5pp	-26.2pp		

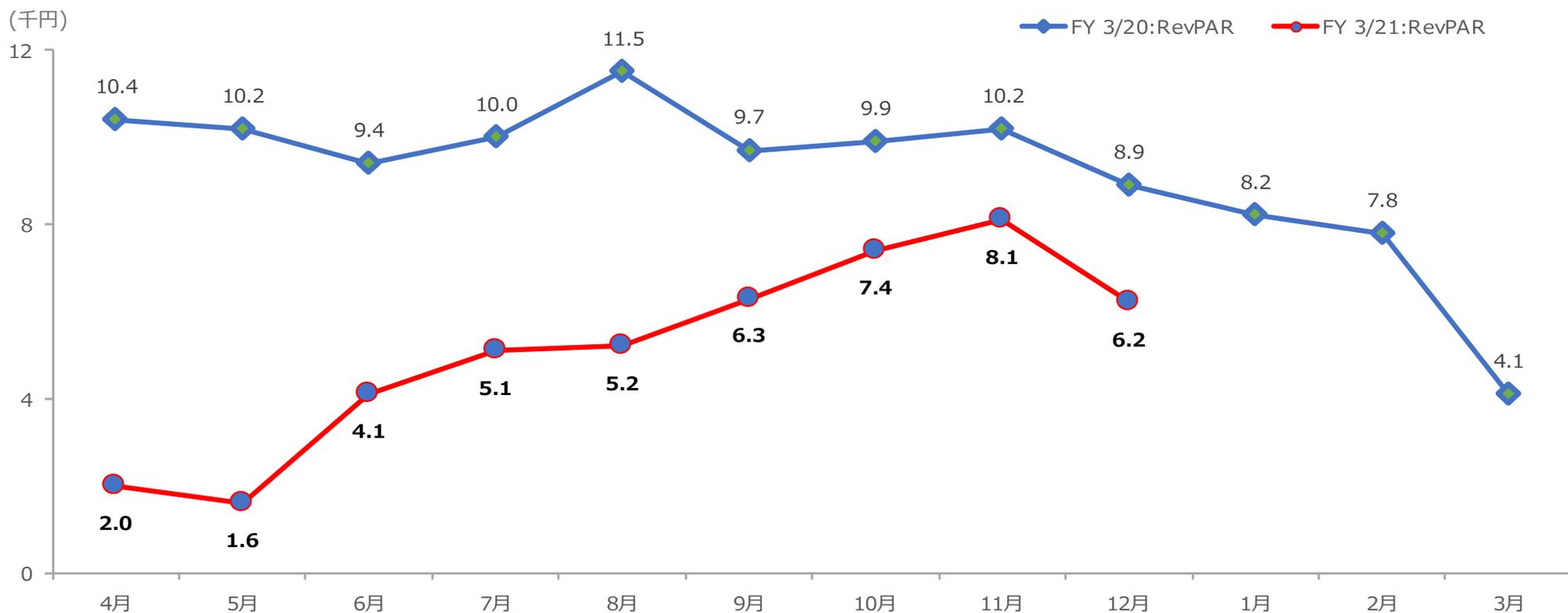
客室単価

	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	11.1	11.2	10.5	10.9	9.0	10.5
FY3/21 実績	6.1	7.9	8.8	7.9		
対前年同期	-4.9	-3.3	-1.6	-3.0		

よい朝のために。

(注) 上表は2019年4月以後に開業したホテル除きベースで表示している(上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

ドーミーイン事業：RevPARの月別推移



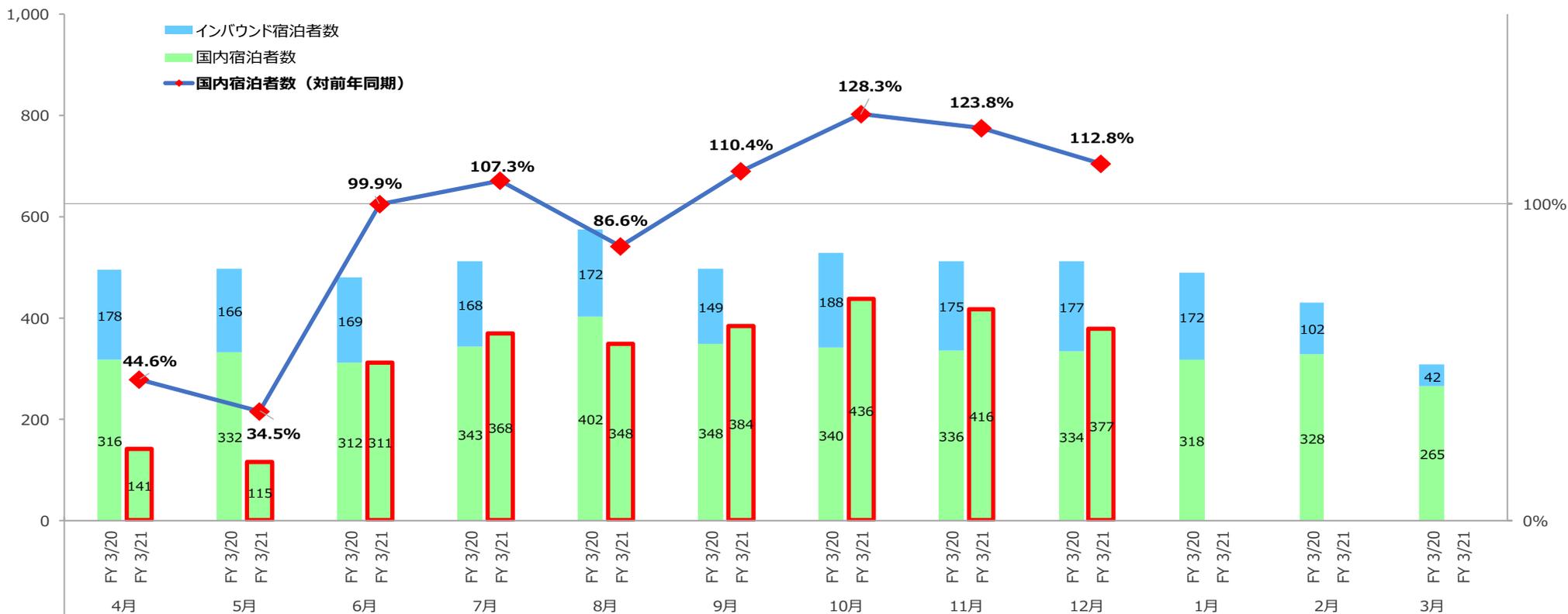
RevPAR (千円)

	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	10.0	10.4	9.7	10.0	6.7	9.2
FY3/21 実績	2.6	5.5	7.2	5.2		
対前年同期	-7.4	-4.9	-2.4	-4.8		

よい朝のために。

ドーミーイン事業：宿泊者数の月別推移

(千人泊)



国内宿泊者数

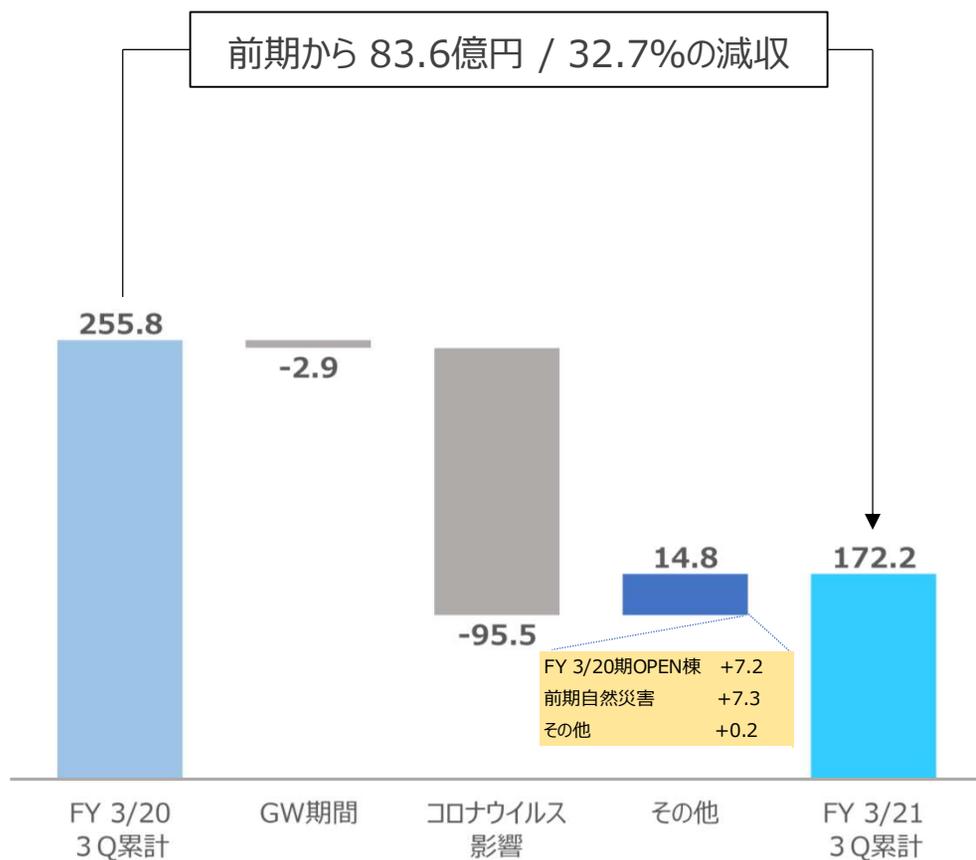
(千人泊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間累計
FY3/20 実績	316	332	312	343	402	348	340	336	334	318	328	265	3,974
FY3/21 実績	141	115	311	368	348	384	436	416	377				
対前年同期	-175	-217	-0	+25	-54	+36	+96	+80	+43				
	44.6%	34.5%	99.9%	107.3%	86.6%	110.4%	128.3%	123.8%	112.8%				

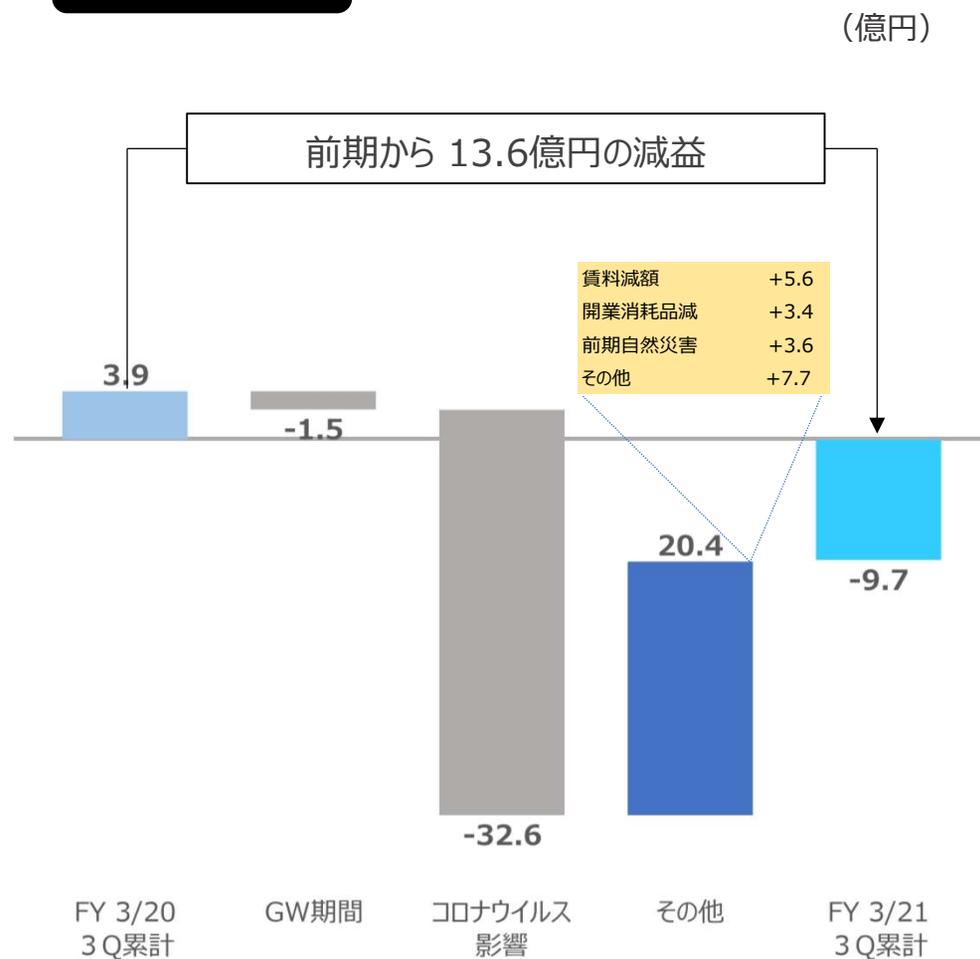
よい朝のために。

リゾート事業：売上高・営業利益

売上高

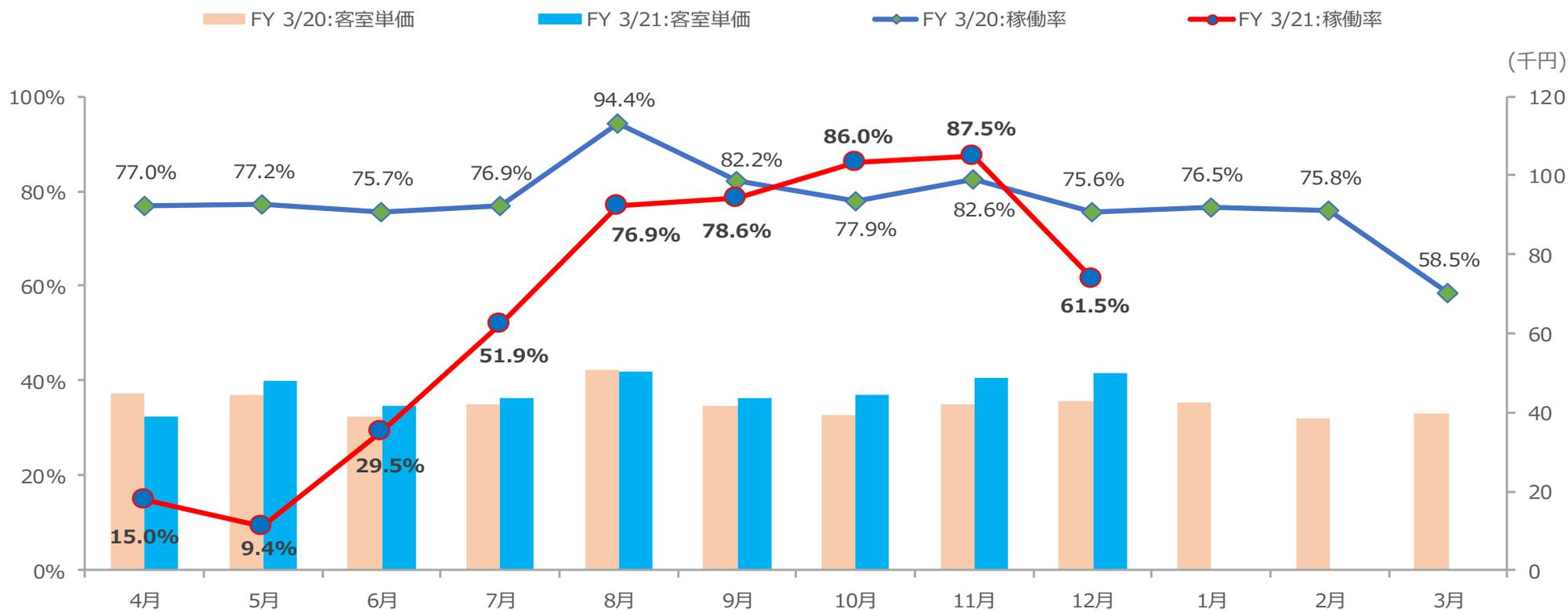


営業利益



よい朝のために。

リゾート事業：稼働率及び客室単価の月別推移



稼働率

	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	76.7%	84.6%	78.7%	80.0%	70.1%	77.5%
FY3/21 実績	17.0%	69.4%	77.9%	58.3%		
対前年同期	-59.7pp	-15.2pp	-0.8pp	-21.8pp		

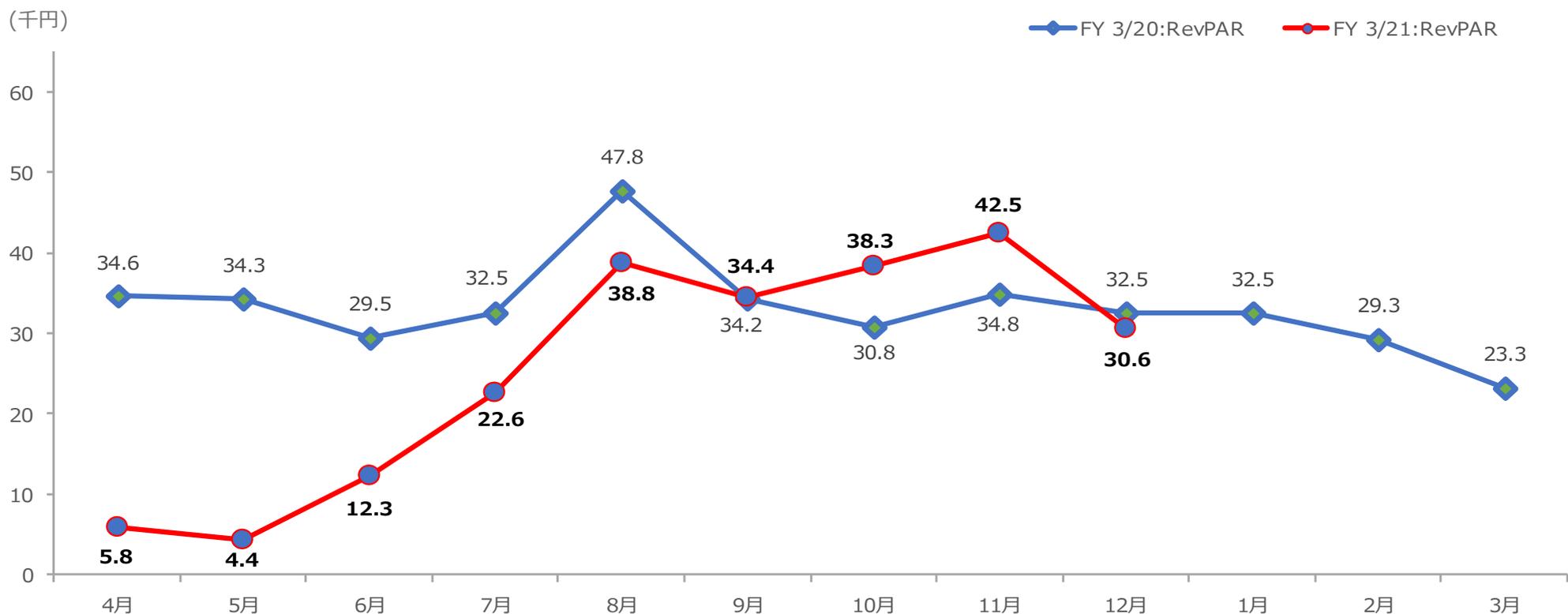
客室単価

	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	43.0	45.2	41.5	43.3	40.4	42.6
FY3/21 実績	41.8	46.3	47.5	46.5		
対前年同期	-1.1	+1.0	+5.9	+3.2		

よい朝のために。

(注) 上表は2019年4月以後に開業したホテル除きベースで表示している (上表に示した2期を同一条件下で比較できるようにするため)

リゾート事業：RevPARの月別推移



RevPAR (千円)

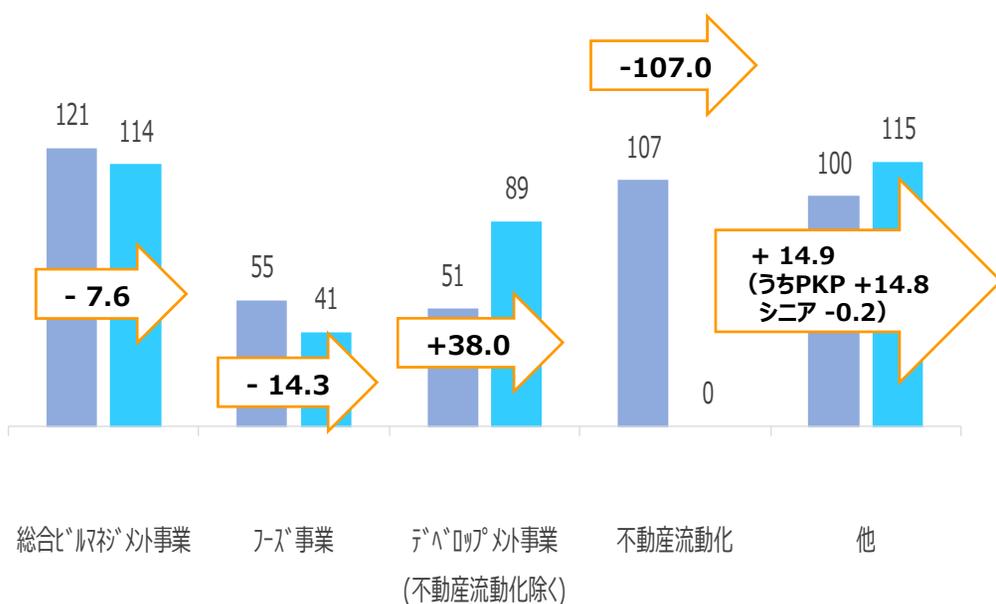
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	年間累計
FY3/20 実績	32.9	38.2	32.7	34.7	28.3	33.1
FY3/21 実績	7.1	32.1	37.0	27.1		
対前年同期	-25.8	-6.1	+4.2	-7.5		

その他事業：売上高・営業利益

(億円)

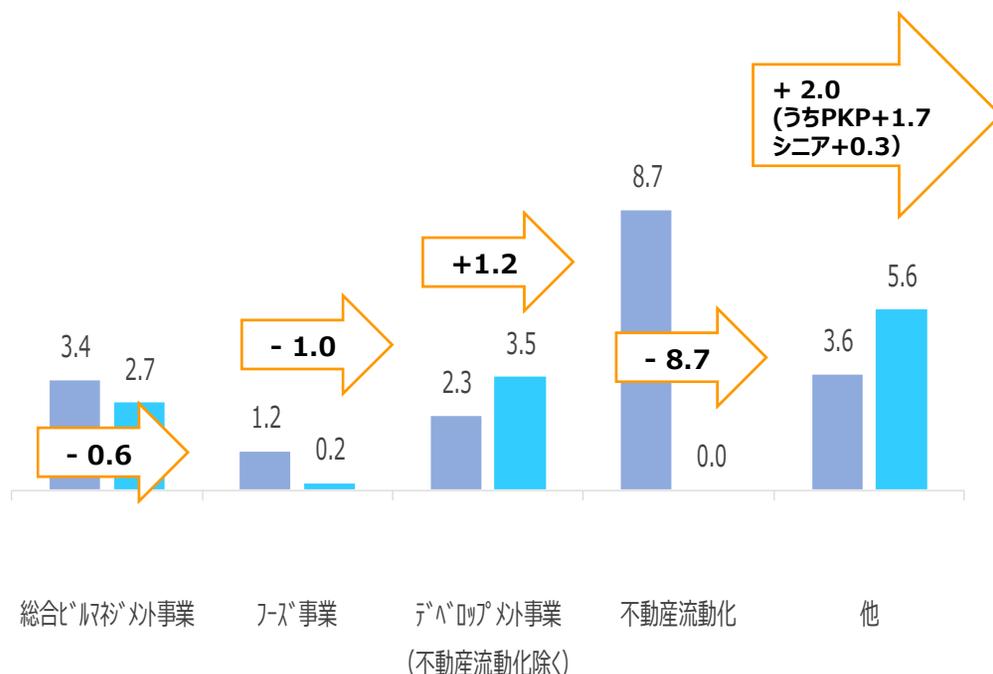
売上高：対前年同期 76.2億円減収

■ FY 3/20 3Q累計 ■ FY 3/21 3Q累計



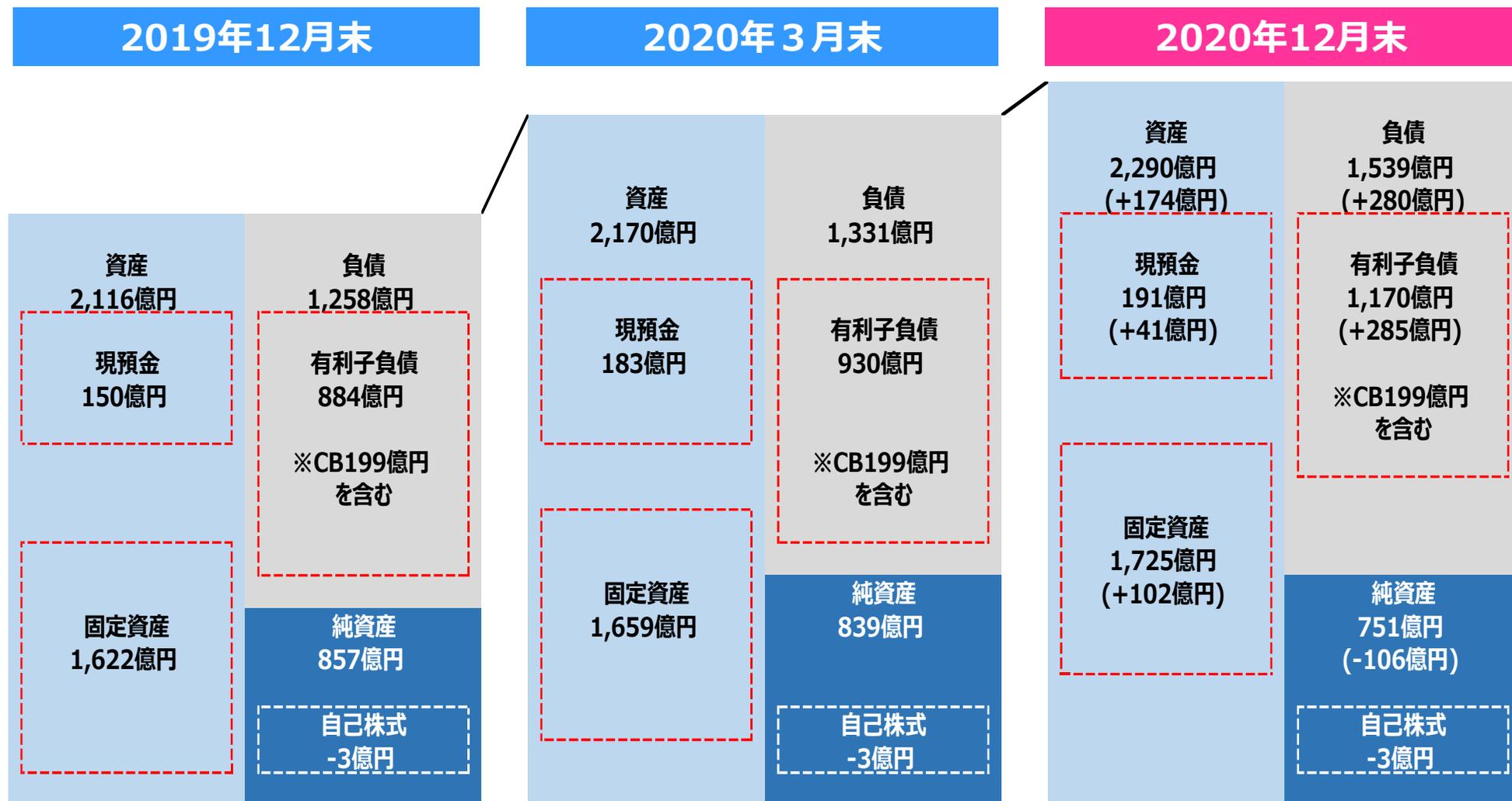
営業利益：対前年同期 7.1億円減益

■ FY 3/20 3Q累計 ■ FY 3/21 3Q累計



よい朝のために。

貸借対照表

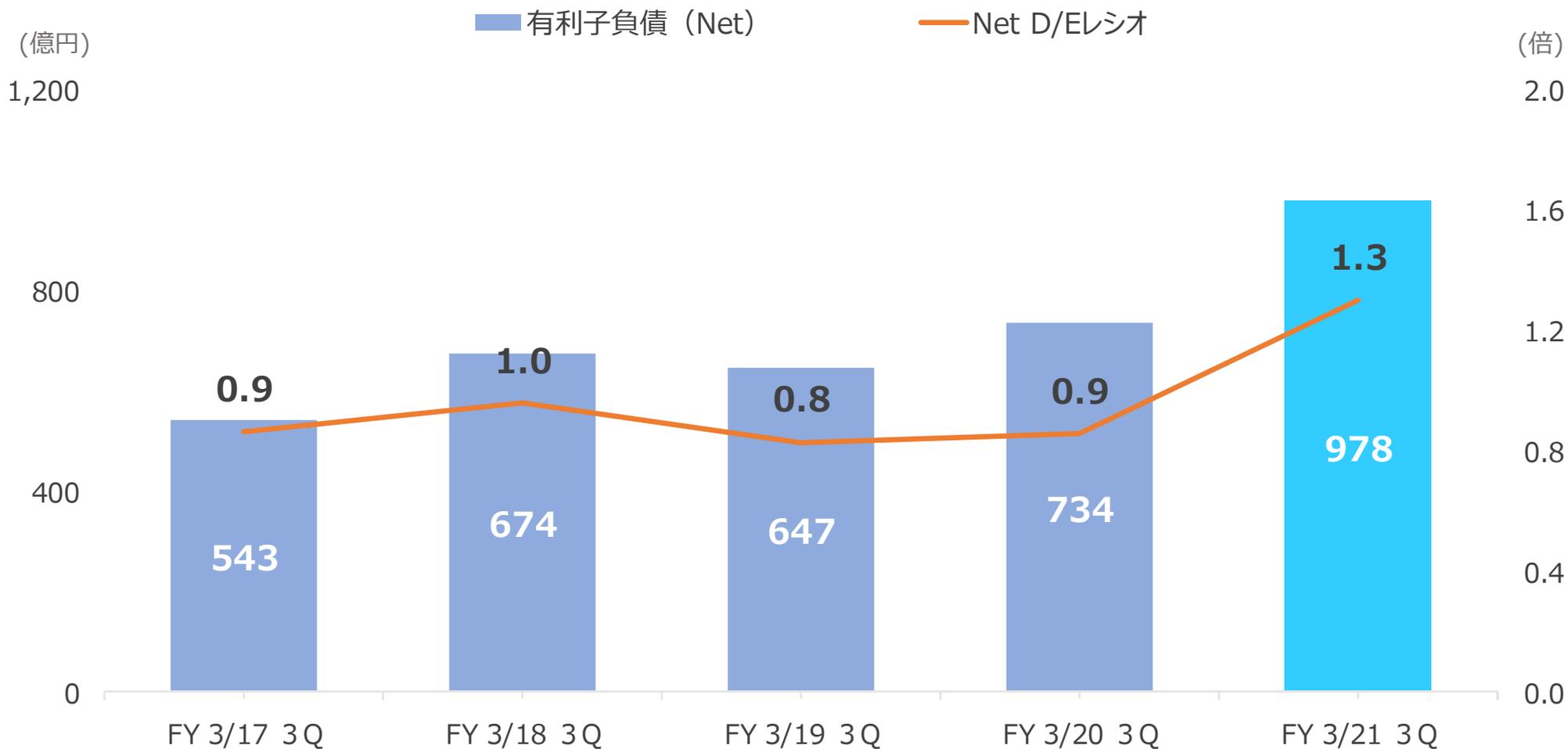


有利子負債 = 短期借入金 + 1年以内償還社債 + 社債 + 長期借入金 + CB(転換社債)

() は前年同期比

よい朝のために。

有利子負債・Net D/E レシオ



よい朝のために。

2021年3月期 コロナ禍での施策

- 無利子貸し付けで学生様の経済的負担を軽減する「新型コロナウイルス就学支援プログラム」を学生様向けに開始
- 自宅からリゾートへ直幸往復便（タクシー会社と共同開発した往復送迎付き宿泊プラン）
- 新型コロナウイルス感染防止対策としてのドーマーイン新商品を開発・販売
 - 『泊まれるオフィス』テレワーク用オフィス
温泉・サウナ・wi-fi・夜鳴きそば、お食事付きの快適なオフィス空間を提供します。
 - 『住むホテル』長期滞在型プラン
ホテルの快適さに加え暮らしに必要な内装をカスタマイズ。ドーマーインを我が家に。



重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation) 」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス（以下、「共立」）によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。

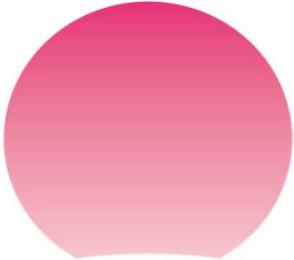
共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we、usおよびour) 」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets) 」、「計画する (plans) 」、「信じる (believes) 」、「望む (hopes) 」、「継続する (continues) 」、「期待する (expects) 」、「目指す (aims) 」、「意図する (intends) 」、「だろう (will) 」、「かもしれない (may) 」、「すべきであろう (should) 」、「であろう (would) 」、「することができた (could) 」、「予想される (anticipations) 」、「見込む (estimates) 」、「予想する (projects) 」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということは何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがありえます。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

よい朝のために。

よい朝のために。

KY  **RITSU**

HOTELS & DORMITORIES